令和　　年　　月　　日

＿＿＿＿＿＿＿＿様

＿＿＿＿＿＿＿＿

拝啓

寒冷の候、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

このようなお願いをしなければならないことをお許し下さい。この不況の影響で我社の受註も減り続け、銀行からの貸し渋りも続いています。それでも、なんとか新しい融資先を見つけ、融資をしてもらう運びとなりました。

ただ、融資の条件として保証人をつけることを要求されました。この融資先を逃してしまうと我社は潰れることは必至です。そのため、大変ご面倒ではありますが、保証人になっていただけないでしょうか。

突然の連絡でこのようなお願いをすることは大変心苦しい限りですが、どうかお願いいたします。決してご迷惑をかけることはございません。何卒お願い申し上げます。

敬具